

令和2年12月19日
ワールドマスターズゲームズ2021 関西組織委員会

「ワールドマスターズゲームズ2021 関西」について

【報告】

1. ワールドマスターズゲームズ2021 関西の会長就任にあたって
2. 準備状況について
 - (1) ご当地×スポーツwebマガジン「ゴトスポ」の展開について
 - (2) テストイベント、オープン競技の実施状況について
3. 次回ワールドマスターズゲームズ開催地の決定について

【ワールドマスターズゲームズとは】

- ・ ワールドマスターズゲームズ(WMG)は、概ね30歳以上であれば誰もが参加できる生涯スポーツの世界最大級の国際総合競技大会。
- ・ これまで、カナダ、デンマーク、オーストラリア、アメリカなどの都市で4年おきに開催され、延べ17万人のスポーツ愛好家が参加している。
この大会が、2022年、アジアで初めて、日本で開催される。

【ワールドマスターズゲームズ2021 関西の概要】

開催期間：2022年（開催日程については調整中）

開催競技：35競技・59種目

開催場所：福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、
徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市

参加目標人数：5万人（国内3万人、海外2万人）

令和2年12月19日
公益財団法人ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会

ワールドマスターズゲームズ2021関西の会長就任にあたって

会 長 仁 坂 吉 伸

この度、公益財団法人ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会の会長に就任いたしました。大会の成功に向け、皆様と想いをひとつにして大会準備を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

私は、WMGが関西全体の生涯スポーツ振興をはじめ、観光・文化振興、地域活性化や国際化に大きな効果をもたらすものであるとの思いから、これまで関西広域連合副連合長として、招致活動の段階から積極的に関わってまいりました。2013年8月に大会の招致が決定し、2017年4月のオークランド大会を実際に経験して、その思いをより強くいたしました。以来これまで、井戸前会長・松本会長の両会長のもと、開催府県市の実行委員会等の関係機関と連携しながら、大会開催に向けて準備を進めてまいりましたが、昨今のコロナ禍の状況を踏まえた結果、11月4日に開催されたIMG A総会において1年延期が承認されたところです。

私といたしましては、大会が延期されたことを前向きに捉え、残された期間で、一層の機運醸成や参加促進を図るとともに、スポーツツーリズムの促進や、参加者どうしの交流促進・参加者と地域の交流促進、インクルーシブな大会づくりなど、大会の魅力にさらに磨きをかけてまいりたいと思います。そのうえで、コロナ禍における新たなスポーツ大会のかたちとして世界に発信できるよう、全力で取り組んでまいります。

準備状況について

(1) ご当地×スポーツ web マガジン「ゴトスポ」の展開について

○概要

- ・ワールドマスターズゲームズを機会に、全国・世界からやってくる人たちに関西のスポーツ文化・熱量を知っていただき、興味を持っていただくことを目的とした web マガジン。大会が1年延期になったいま、地元ならではのさまざまな魅力を世界の参加者に知っていただき、WMG への参加のモチベーションを高めるとともに、受け入れる各地域の機運醸成を図ることを目的に、スポーツツーリズムに焦点を当て情報発信を強化する。
- ・「ゴトスポ」に掲載する記事は、公募で選ばれた、WMG 開催府県市在住のゴトスポ取材記者（広報ボランティア）が作成。

○ゴトスポとは

街でも、グルメでも、酒でも、旅でも、人でもスポーツと組み合わせ、私しか知らない、その地域しか知らない話題をたくさん集め、人も地域も、少し楽しく、少し元気になりたいという想いで立ち上げました。

【URL】 <https://wmg2021.jp/gotospo/>

※英語版は12月中公開



○記事ラインナップ（例）



○ランナーの聖地と呼ばれる和歌山県紀川市名手のラーメン店「二代目よなきや」とは？

○神戸の地下街に突如出現するメトロ卓球場（前編）

○スポーツを楽しむために、スポーツが楽しめるために。あなたの味方になってくれる神社スポットを順次ご紹介！ Vol.01

ゴトスポ web サイトはこちらから→



準備状況について

(2) テストイベント・オープン競技の実施状況

12月19日現在、テストイベントは21競技（種目）、オープン競技は4競技（種目）が実施済みであり、すべての競技（種目）において、新型コロナウイルス感染症防止対策を取り入れた大会運営が行われていた。

主な実施状況報告（組織委員会による視察結果）

テストイベント（開始日順、開催各府縣市1競技（種目）抜粋）

No.	種目・期日・開催地	実施状況	写真
1	リエンテリング （スプリント） 2020.10.4 兵庫県神戸市 （神戸総合運動公園）	<ul style="list-style-type: none"> 参加人数：175人 今回、個人用テント設置禁止について、参加者への事前周知により、密になる空間を作らない状況であった。 大会速報等の掲示場所で密を避けるため情報発信イベントフリーWi-Fiを活用。 	
2	クレー射撃 2020.10.17～18 兵庫県 （岡山県クレー射撃場）	<ul style="list-style-type: none"> 参加人数：約100名 競技受付時には、検温と問診による体調確認が行われていた。 本大会同様、パラ部門も開催。 	
3	カヌー （マラソン） 2020.10.23～25 京都府京丹後市 （久美浜湾カヌー競技場）	<ul style="list-style-type: none"> 参加者数：89名 ポータジ方式（1周毎に一旦陸上へ、艇を担いで100m程運搬し、再び漕ぎ出す）による競技は、今回が日本初実施 2006年カヌー世界選手権（K4-1,000m）金メダルのラヨシュミョコシュ氏が参加。 感染症対策として、サーモグラフィーによる検温・健康チェックリスト・京都府新型コロナ緊急連絡サービスおよびCOCOAのインストール登録啓発。 ドローン撮影にて、LIVE配信実施（youtube） 	
4	セーリング （Tasar級） 2020.10.24～25 和歌山県和歌山市 （和歌山セーリングセンター）	<ul style="list-style-type: none"> 参加チーム数：22チーム44人 開催2週間前から健康管理を実施。当日、健康確認申告書の提出および、受付にて検温を実施。 	
5	自転車 （ロードレース） 2020.11.1 鳥取県倉吉市 （VMG2021 関西自転車競技ロードコース）	<ul style="list-style-type: none"> 参加人数：約230人 観客、競技者は受付で検温を実施し、クリアした者にリストバンドを着用。 とっとり新型コロナ対策安心システムへの登録啓発。 	

オープン競技（開始日順、開催各府縣市1競技（種目）抜粋）

No.	種目・期日・開催地	実施状況	写 真
1	ボート 2020. 9. 27 大阪府 大阪府立 漕艇センター （浜寺漕艇コース (2, 000m)）	<ul style="list-style-type: none"> 参加人数：309 人 大阪コマ追跡システムの登録啓発。 舵手（コックス）有りの種別については、舵手と漕ぎ手が向き合わないよう工夫し競技を実施。 ※向き合う場合、舵手はマスクまたはフェイスシールドを着用（必須） 	 <p>舵手（コックス）</p>
2	トライアスロン 2020. 10. 11 大阪市 大阪城公園及び 大阪城東外堀・ 周辺特設コース	<ul style="list-style-type: none"> 参加人数：約 700 人 台風 14 号の影響及び水質の状況によりスィムは中止（デュアスロン大会での実施）。 関係者（選手、ボランティア含む）は、サーモグラフィ検温にて会場入り。 ※選手は、受付にて事前健康チェック、当日セルフ健康チェックを決められた時間までに Google Forms にて提出（義務）。 参加者へのキットバッグ及びレースナンバーカード等は、大会側より参加者へ事前郵送。 	
3	軟式野球 2020. 10. 30 ～ 11. 1 徳島県 （鳴門市、徳島市 阿南市 他）	<ul style="list-style-type: none"> 参加チーム数：12 チーム 参加府県：徳島県、大阪府、兵庫県、広島県、高知県、香川県 トーナメント方式で実施。 全ての入場者に対する検温の実施。 健康チェックシートの提出義務化。 ベンチ等の消毒の徹底。 	

次回ワールドマスターズゲームズ開催地の決定について

次回ワールドマスターズゲームズ（第11回・2025年）の開催地について、台北市及び新北市（台湾）に決定した。

決定の経緯等については、以下のとおり。

○決定までの経緯

- ・当初、シンガポール、パース（オーストラリア）、台北・新北（台湾）、パリ（フランス）の4都市が次回開催地に立候補していたが、最終的には、台北・新北とパリとの競合となった。
- ・10月21日、IMG A（国際マスターズゲームズ協会）理事会において台北・新北を支持
- ・11月4日、IMG A総会において承認・決定
- ・12月10日、WMG開催契約締結
（別紙1「台北・新北WMG2025開催地契約署名式に関する記事」参照）

○大会開催概要（IMG A総会提案内容、現地報道より）

- ・開催地 : 台北市及び新北市（台湾）
- ・競技会場 : 台北市、新北市のほか近隣市・県
- ・開催日程 : 2025年5月17日（土）～30日（金）
 - ※ただし、一部競技は5月31日も開催
 - ・開会式 5月17日（土）18時 於：Taipei Dome
 - ・閉会式 5月30日（金）18時 於：Breeze Canal
- ・開催競技数 : 32競技
- ・参加者目標 : 110か国・30,000人以上

台北・新北 WMG2025 開催地契約署名式に関する記事

〔2020.12.10/ 台北＝国営・台湾中央社（CNA）〕台北・新北、WMG 開催契約書にサイン

(Taipei, New Taipei sign contract to host World Masters Games)

台北・新北両市長は、30 歳以上のアスリートを対象とした国際スポーツ大会である 2025 ワールドマスターズゲームズを主催する契約を正式に締結した。台北市長の Ko Wen-je（柯文哲）と新北市長の Hou Yu-ih（侯友宜）はそれぞれ、大会を主催する IMGGA の Kai Holm 会長、Jens V. Holm 事務局長と共に、契約書面にリモートでサインし、合意を公式的なものとした。



4 年ごとに開催されるこの大会は、30 歳以上のアスリートが幅広い競技に参加でき、国の代表ではなく個人として競う。台北と新北は 10 月に開催国として確認され、フランス・パリとオーストラリア・パースを破り、5 月 17 日から 30 日に予定されている 2025 年大会を開催する権利を獲得したところ。



契約締結時には蔡英文總統のビデオメッセージ（事前録画）が流された。蔡總統は「台湾はこれまでの WMG で最も成功した大会にすること、そして「Sports For All」の理想を実現するために全力を尽くすことを目指している」と述べた。また、「台湾は、2009 年の台北デフリンピック、2009 年のワールドゲームズ高雄大会、2017 年の台北夏季ユニバーシアードといった国際スポーツ大会を主催した過去の経験を基に、大会を企画する予定」と

した上で、「台湾全体で、WMG 開催都市をサポートする」と話した。さらに蔡總統は、IMGGA の支援と理解に感謝し、アスリートが「スポーツへの（彼らの）愛を完全に表現する」ことを可能にするとして、大会にいかなるエントリー制限も設けられていないことを高く評価した。

台北・新北両市が 10 月に初めてニュースを発表したとき、蔡炳坤・台北副市長は、32 競技を開催し、110 カ国から約 48,000 人のアスリートとその家族が台湾を訪れると予想されていると述べた。蔡副市長によると、開催には、約 16 億台湾ドル（5,560 万米ドル）の費用を要すると見込まれる。

李再立・台北市政府体育局長によると、この大会は 100 億台湾ドルの観光収入をもたらすものと見込まれている。IMGGA によると、1985 年にトロントで始まったワールドマスターズゲームズは、通常、オリンピックの翌年に開催されることになっている。直近の大会は 2017 年にニュージーランドのオークランドで開催され、今回は COVID-19 の大流行により当初予定されていた 1 年後の 2022 年になるが、日本の関西地域で開催される。

【原文】

Taipei, Dec. 10 (CNA) The mayors of Taipei and New Taipei on Thursday officially signed a contract to host the 2025 World Masters Games, an international sporting competition for athletes over 30 years old.

Taipei City Mayor Ko Wen-je (柯文哲) and New Taipei City Mayor Hou Yu-ih (侯友宜) formalized the agreement in a video call with Kai Holm and Jens V. Holm, who are, respectively, the president and CEO of the International Masters Games Association (IMGGA), which organizes the event.

The games, which are held every four years, are open to athletes over the age of 30 in a wide range of sports, competing as individuals rather than part of a national team. Taipei and New Taipei were confirmed as the hosts in October, edging out the French capital Paris and the Australian city of Perth for the right to host the 2025 edition of the games, which are scheduled for May 17-30.

In a pre-recorded video message played at the contract signing, President Tsai Ing-wen (蔡英文) said that Taiwan aims to host the most successful edition of the games ever and do its utmost to realize the ideal of "Sports for All."

Taiwan will build on its past experience hosting international sporting competitions, including the 2009 Deaflympics in Taipei, 2009 World Games In Kaohsiung, and the 2017 Taipei Summer Universiade, in organizing the games, Tsai said, adding that the entire country will work to support the host cities.

She thanked the IMGGA for its support and recognition, and praised the games' no restrictions on entry as allowing athletes to "fully express (their) love of sports."

When Taipei and New Taipei first announced the news in October, Taipei Deputy Mayor Tsai Ping-kun (蔡炳坤) said that about 48,000 athletes and their families from 110 countries are expected to visit Taiwan for the games, which will feature 32 sports categories.

It is estimated the games will cost about NT\$1.6 billion (US\$55.6 million) to host in Taiwan, Tsai said at the time.

The games are expected to bring in NT\$10 billion in tourism revenue, according to Li Tzai-li (李再立), head of the Taipei city government's sports department.

The World Masters Games, launched in 1985 in Toronto, are usually held the year after the Olympics, according to IMGGA.

The last edition of the games was in Auckland, New Zealand in 2017, while the next one will be hosted in Japan's Kansai region in 2022, one year after originally scheduled due to the COVID-19 pandemic.

